

一橋大学 1975 年卒 河田正也

高校まで運動部とは無縁だったが、大学では体力もつけたいと思い、初心者で卓球部に入部した。古い木造体育館の一角に仕切られた部屋に卓球台が三台あった。平日は毎日練習して、部の雰囲気もよかった。当時はユニフォームはチーム統一のものではなく各自ばらばらだった。練習中に某先輩が踏み込んだ足で床の板が抜けたこともあり、幸い怪我には至らず、和気藹々としたところもあった。関東学生リーグ戦では、入学した年に残念ながら 3 部から 4 部に落ちたが、試合の都度ベンチから大声で応援していたことも懐かしい。コーチや先輩は初心者にも親切で練習に励んだがさほど上達せず、2 年の終わりから主務を言い渡された。会費集めで先輩回りに励んで時々昼食をごちそうになったり、OB の話を聞かせてもらうことも楽しみだった。

母校もかなり前から女子卓球部ができて頑張っている様子で、多様性の時代にふさわしく喜ばしい。

会社に入ってから転勤が多かったが、各地でたまに卓球を楽しんで親睦を深めることもできた。

2015 年から卓球教室 (ITS 三鷹) に月 1-2 回ペースで通い始め、4 年前にはペンホルダーからシェークハンドに変えてあらためて基本から教わっている。講師の織部幸治氏は荻村伊知朗氏の直弟子で、荻村氏の選手時代から ITTF 会長までの活躍や卓球に関わる資料・記録を保管され公開もされている。私も荻村氏の足跡や卓球史を時々学ばせて頂いている。教室には、卓球界の著名人や外国からの選手など多彩なゲストも時に参加されている。

また、2018 年から会社がナショナルチームオフィシャルスポンサーになったこともあり、この数年試合観戦の機会も増えた。

2021 年春から、奇しくも日本学生卓球連盟の会長を仰せつかり、新鮮な経験の日々が続いている。2021 年はコロナ禍のリスクと向き合いながら、インカレをはじめとする三大大会や、高体連との合同強化事業、東北復興支援講習会などを、関係者一同の協力で何とか再開できたことは意義深かった。日学連は 2022 年から一般社団法人となった。スポーツガバナンスの流れに沿って、長内さんや広川さんとも今後とも連携をとらせて頂きながら、学生卓球の健全な普及発展に貢献していきたい。

大学時代に卓球部に所属したおかげで、中高年になってからも旧交を温めたり新たな交友が広がったりと予想外の展開となってきたが、はや古希を迎えた。卓球の腕前は語れるものではないが、一卓球愛好者として、これからも卓球を楽しみ、卓球の発展を応援していきたい。